

世界は“**楽しい**”でつながる!

楽しいことが生きる力になるケアをめざして

日米DT&RT 交流フォーラム in 東京

Japan-US Diversional & Recreational Therapy Exchange Forum in Tokyo

「老いるとは楽しむこと」(1999年オーストラリア高齢者介護省/ビショップ大臣)で始まった日本のダイバーショナルセラピー(DT)。近年、各国とのDT&RT(レクリエーションセラピー)の交流が活発になっています。今回はアメリカの「全米アクティビティ専門家協会」の3人のディレクターと、国立大学法人東京科学大学の福井小紀子先生を迎えて、“楽しく自分らしく”の尊厳とは何か?アクティビティやDTをケアにどう活かすか?を共に考え、実践の視野をさらに広げます。日本の介護をもっと楽しくしましょう!(通訳あり)

【基調講演】



コリン・キーガン 氏
Colleen Keegan



福井 小紀子 氏
国立大学法人東京科学大学 教授



シンディ・ティワルト 氏
Cindy Tewalt



バネッサ・エム 氏
Vanessa Emm

【コメンテーター】

各地のDT実践施設から
ダイバーショナルセラピーワーカーによる
プレゼンテーションも!

日 時: 2026年11月14日(土) 10:00-17:30

会 場: TKP浜松町南口ビジネスセンター 東京都港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル 3階

JR浜松町駅 南口 徒歩4分 / 東京モノレール モノレール浜松町駅 南口 徒歩4分

都営大江戸線 大門駅 B5出口 徒歩4分

主 催: NPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会 (DTAJ)

後 援: 厚生労働省 / 東京都 / 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

National Association of Activity Professionals (NAAP) 全米アクティビティ専門家協会

参加費: 日本DT協会会員(法人会員職員含む): 無料

非会員: 2,000円(当日現金支払い)

懇親会: 5,000円(フォーラム終了後、同ビル内で開催 / 当日現金支払い)

フォーラム及び懇親会のお申し込みは右のQRコード、または日本DT協会ホームページから



プログラム <11月14日(土)>

10:00 開会挨拶

10:10 講師紹介

10:15 プロローグ「日本におけるDT実践と各国の動向」
芹澤隆子／日本DT協会 理事長

11:00 基調講演Ⅰ
「生活の質を重視する政策動向とDTへの期待」
福井小紀子氏／国立大学法人東京科学大学
保健衛生・看護先進科学専攻 教授

11:45 ランチタイム

12:45 基調講演Ⅱ
「米国における“アクティビティ・プロフェッショナル”の
社会的背景とその実践 ～意義深い関与の力～」
Colleen Keegan／NAAPアウトリーチ・ディレクター

14:45 休憩

15:00 DTワーカーによるプレゼンテーション
社会医療法人 豊生会グループ(北海道)
社会福祉法人 東京聖労院(東京都)
社会福祉法人 湘南愛心会(神奈川県)
株式会社 ホームケアサービス山口(山口県)
医療法人社団 仁誠会(熊本県)
コメンテーター:NAAP各氏、福井小紀子先生

16:45 交流セッション
(質疑応答・意見交換等)

17:30 終了

17:30～19:30 懇親会 オモテ面のQRコードから
お申込みください

プロフィール

コリン・キーガン氏 Colleen Keegan

NAAPアウトリーチ・ディレクター。ウィスコンシン州NAAP元会長。NCCDP(全米認定認知症ケア専門家評議会)認定の認知症ケア専門士／アルツハイマー病・認知症ケアトレーナー。国際的な連携や関係構築に尽力。美術学学士号。著書にCaregiver Activity Lesson Plans 等

バネッサ・エム氏 Vanessa Emm

NAAP業務統括ディレクター。NCCAP(全米認定アクティビティ専門家評議会)認定のアクティビティコンサルタント／インストラクター／教育者であり、NCCDP認定のアルツハイマー病・認知症ケアトレーナー、認定認知症実践者。現在、ネバダ州北部全域の施設に教育およびコンサルティングサービスを提供。ミネソタ州立大学で老年学の学士号を取得。

シンディ・ティワルト氏 Cindy Tewalt

NAAP財務担当ディレクター。長年にわたりウィスコンシン州アクティビティ専門家協会代表を務める。現在、NAAPにおいて予算、報告書、金融機関、理事会等の財務に貢献。組織が目標に向かって順調に進むよう導いている。

福井 小紀子氏 国立大学法人東京科学大学 教授

東京科学大学 保健衛生・看護先進科学専攻 教授。厚生労働省社会保険審議会専門委員、厚生労働省「適切なケアマネジメント手法普及促進事業提案書審査委員会」委員長等を歴任。日本DT協会は2018年度(大阪)・2019年度(東京)の2回にわたって総会后特別講演を依頼。政策的視点を交えてDTの活路を考察された。

DT&RTについて

DT&RTでは現在、次の6か国7団体が連携を組んで交流しています。

- ・American Therapeutic Recreation Association (ATRA) アメリカ
- ・National Association of Activity Professionals (NAAP) アメリカ
- ・Canadian Therapeutic Recreation Association (CTRA) カナダ
- ・National Activity Providers Association (NAPA) イギリス
- ・Australian Recreational Therapy Association (ARTA) オーストラリア
- ・New Zealand Society of Diversional and Recreational Therapy (NZSDRT) ニュージーランド
- ・Diversional Therapy Association of Japan (DTAJ) 日本

※このフォーラムでは、これら各国の名称を「レクリエーションセラピー(RT)」と総称します。



NZSDRTのカンファレンスに集まった各国代表たち(2024)

NPO法人 日本ダイバージョナルセラピー協会

〒630-0256 奈良県生駒市本町6-4 D&Dビル3F
公式サイト(お問い合わせ) <https://dtaj.or.jp>

お問い合わせは
こちらから▶

